

光化学オキシダントの測定結果（平成29年度）

光化学オキシダントは、窒素酸化物や炭化水素類が紫外線を受けて光化学反応を起こし、二次的に生成される酸化性物質で、光化学大気汚染（いわゆる光化学スモッグ）の原因物質とされ、その発生は気温、風向、風速、日射量等の気象条件に大きく左右されます。

平成29年度に、光化学オキシダントについて14測定局で測定した結果は、下表のとおりであり、いずれの測定局においても環境基準を達成できませんでした。

昼間（午前5時から午後8時まで）の1時間値の最高値が最も高かったのは、笠原測定局の0.119ppmでした。

なお、平成29年度は、「岐阜県大気汚染対策要綱」に基づく光化学スモッグ予報の発令はありません。

地域	測定局名	昼間測定日数 (日)	昼間測定時間 (時間)	昼間 年平均値 (ppm)	昼間の1時間値が0.06ppm を超えた日数とその割合		昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた時間数 とその割合		昼間の 1時間値 の最高値 (ppm)	日最高 1時間値 の年平均 (ppm)	環境基準 の適否 適○否×	平成28年度	
					日	%	時間	%				昼間 年平均値 (ppm)	環境基準 の適否
岐阜	岐阜中央	364	5347	0.035	92	25.3	430	8.0	0.100	0.050	×	0.035	×
	岐阜南部	365	5381	0.034	88	24.1	444	8.3	0.103	0.048	×	0.033	×
	岐阜北部	365	5392	0.034	84	23.0	421	7.8	0.106	0.049	×	0.035	×
	各務原	357	5213	0.035	94	26.3	501	9.6	0.109	0.050	×	0.034	×
	本巣	365	5428	0.035	86	23.6	440	8.1	0.104	0.050	×	0.029	非適用
	平均			0.035									0.034
西濃・ 羽島	羽島	365	5434	0.034	93	25.5	507	9.3	0.116	0.049	×	0.036	×
	大垣中央	313	4613	0.038	91	29.1	506	11.0	0.115	0.052	×	0.036	×
	大垣南部	357	5308	0.033	78	21.8	404	7.6	0.115	0.047	×	0.035	×
	平均			0.035								0.036	
可茂	美濃加茂	363	5389	0.032	86	23.7	409	7.6	0.109	0.048	×	0.034	×
東濃 西部	笠原	346	5121	0.034	95	27.5	527	10.3	0.119	0.051	×	0.042	非適用
恵那・ 中津川	中津川	340	5023	0.031	72	21.2	339	6.7	0.108	0.047	×	0.032	×
下呂	下呂	361	5222	0.035	58	16.1	301	5.8	0.107	0.047	×		
飛騨	高山	365	5419	0.033	57	15.6	328	6.1	0.095	0.046	×	0.033	×
乗鞍		352	5234	0.047	84	23.9	638	12.2	0.095	0.053	非適用	0.047	非適用
県平均				0.034								0.034	

備考) 1 県環境管理課調べ

2 昼間は、午前5時から午後8時までを示す

3 環境基準に適合しているとは、1時間値が0.06ppm以下(0.06ppmを超えた時間数がゼロ)であることを示す

4 県平均に、乗鞍測定局は含まない